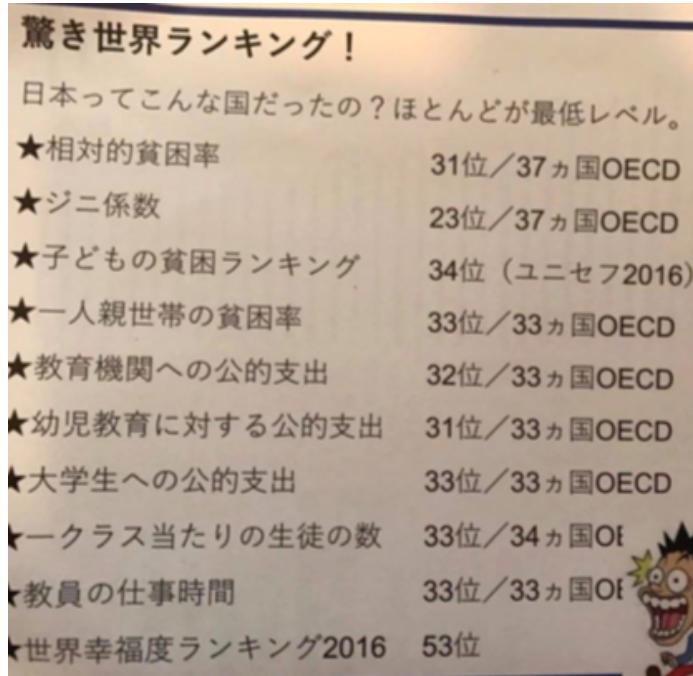




## No.016 教育が変わる(1) 教育の無償化



義務教育は無償ですが、2010年から高等学校が無償化されました。幼児教育は今年から、高等教育は来年から無償化がスタートします。

「無償化」に批判的な論調もありますが、反対というよりも、待機児童をなくすとかほかにやることがあるだろう、という意見のようです。確かにどの施策を優先するかに意見の違いはありますが、何れにしても財源を捻出して教育・保育分野の公的サービスを拡大するべきだという点においては変わりありません。

先進国では基本的に教育の無償は当然ですが、日本はOECD加盟国中、教育に対する公的支出のGDP比のランキングが最低です。そもそも将来の日本を支える子供たちへの投資こそ他の支出を削ってでも優先するべき財政支出ではないか。人口減少の深刻さを考えるとますますそうです。

だとすれば、無償と言いながら無償化の対象とされていない給食費や通学費についても、私は自治体がリードして現物支給るべきだと思います。これは首長のやる気の問題です。